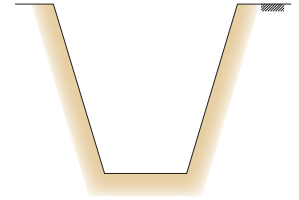


施 工 手 順

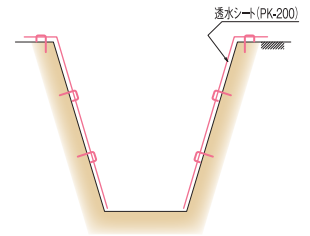
1 掘削工

- ①掘削は小型掘削機械により行い、崩壊性の地山の場合は土留工を施します。
- ②掘削機械のバケットのつめ等で掘削の仕上がり面を押し潰した場合はショベルや金ブラシ等で表面を剥ぎ落とし、土砂は排除します。
- ③掘削底面は浸透能力を保持する為、極力足で踏み固めない様に注意します。



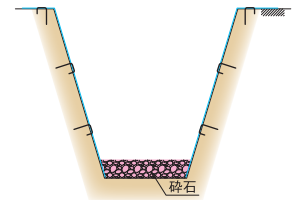
2 透水シート 布設工

- ①透水シート(PK-200)は土砂の砕石内への流入を防ぐと共に地面の陥没を防ぐ為、掘削側面に布設します。
- ②透水シート(PK-200)は掘削面よりやや大きめの物を使用し、シートの継ぎ目から土砂が侵入しない様に重ねしろを考慮して下さい。
- ③作業をやすくする為、透水シート(PK-200)を掘削面にピン等で固定します。



3 砕石充填工(1)

- ①投入時に透水シート(PK-200)を引き込まない様に注意しながら砕石を投入して下さい。
- ②砕石の転圧は沈下防止の為にやりますが、砕石部分の浸透能力や貯留量に影響する為、転圧のしすぎには十分配慮して下さい。

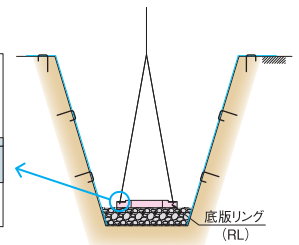
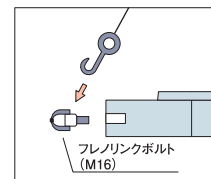


4 底版リング 据付工

- ①偏荷重による浸透ポラコンマンホール本体の損傷を防止する為に、砕石上に底版リングを据え付け、レベル調整を行います。
- ②砕石上に底版リングを施工しにくい場合は空モルを敷いて下さい。

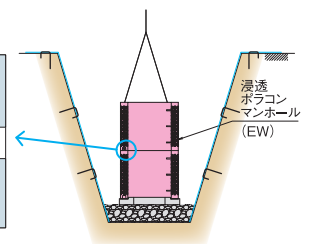
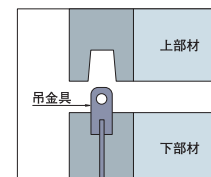
※空モルを敷くときは砕石層の貯留を阻害しないよう配慮して下さい。
※空モルは底版リングから横手方向にできるだけみ出さない様施工し、厚みは底版リング部の砕石層の深さの20%(最大100mm)に留めて下さい。

- ③吊り金具はフレノリンクボルト(M16)を使用します。



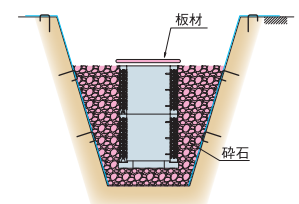
5 本体据付工

- ①底版リング上に浸透ポラコンマンホール本体を据え付けます。
- ②3ヶ所の吊り金具が上部材の凹部分に入る様に据え付けます。(1段ごとにレベル調整して下さい。)



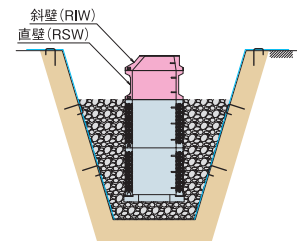
6 砕石充填工(2)

- ①砕石投入時に、砕石が浸透ポラコンマンホール内に入らない様に板材などで養生して下さい。
- ②砕石の投入は投入時に製品が動かない様に注意し、透水シート(PK-200)を引き込まない様に慎重に行います。
- ③砕石の転圧は沈下防止の為に数回に分けて行いますが、砕石部分の浸透能力や貯留量に影響する為、転圧のしすぎには十分配慮して下さい。



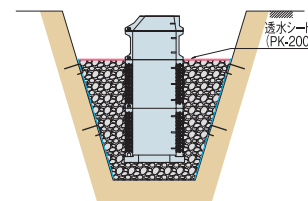
7
直壁・斜壁
据付工

- ① 本体(EW1500・2000の場合は床版)の上に直壁・斜壁を据え付けます。製品間の継ぎ目にコーキング材を打つことで浸透ポラコンマンホール内の土砂流入を防止できます。
- ② 碎石の投入は投入時に製品が動かない様に注意し、ポーラスシートを引き込まないように慎重に行います。
- ③ 碎石の転圧は沈下防止の為に数回に分けて行いますが、碎石部分の浸透能力や貯留量に影響する為、転圧のしすぎには十分配慮して下さい。



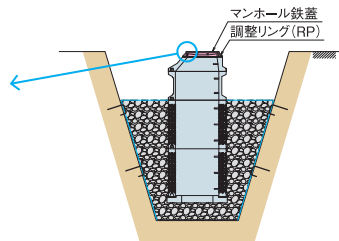
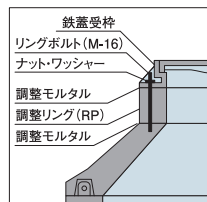
8
透水シート工

- ① 碎石層を包み込む様に碎石層上面にポーラスシートを被せます。



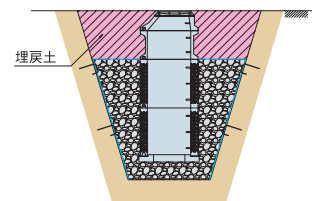
9
鉄蓋据付工
(調整リング)

- ① 斜壁上面のインサートにリングボルトをねじ込みます。(M-16:3本)
- ② 地面面との高さを調整しながら調整リング(RP)と鉄蓋受枠を載せます。(モルタル等で高さ調整を行って下さい。)
- ③ ボルトナットを締め付け、鉄蓋受枠を固定します。



10
埋戻し工

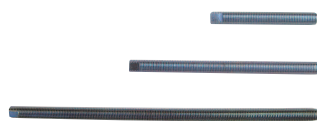
- ① 埋戻しは転圧機で十分に締め固めます。
- ② 碎石のかみ合わせ等による初期沈下が起きる場合がある為、埋戻し後1~2日は注意して下さい。



11 施工完了 お気づきの点がございましたら、お気軽に当社までご連絡下さい。(HPのお問合せ先にてお受けしております。)

■共通部品

- | | | | |
|-------------------------|-----------|----------------|-----|
| リングボルト(ワッシャー・ナット共)〈受枠用〉 | M16×130mm | フレノリンクボルト〈吊り用〉 | M16 |
| | M16×280mm | | |
| | M16×380mm | | |



※P27記載の構造図(2段階)に準拠 (1ヶ所あたり)

製品名	製品質量(kg/基)	世話役(人)	特殊作業員(人)	普通作業員(人)	トラッククレーン(hr)
EW-900	2,822	0.18	0.07	0.21	1.66
EW-1200	3,925	0.30	0.09	0.39	2.12
EW-1500	5,069	0.34	0.11	0.43	2.46
EW-2000	11,715	0.53	0.17	0.66	3.10

(注) 1. 歩掛は、運搬距離30m程度までの現場内小運搬を含みますが、床掘り、埋戻し、残土処理および碎石層の材工は含んでおりません。
2. 諸雑費(モルタル費等)は労務費及び機械運転経費の合計に2%を乗じた金額を上限として計上して下さい。 3. 透水シートの敷設は普通作業員0.25人/100㎡を加算願います。

施工歩掛